

がむば

報 友 会 友 友 友
行 部
部 報 部
刷 刷
昭 和 堂 印 刷



生涯教育の場としてのPTA

会長 山 本 萬 五 郎

「光陰矢のごとし」とか、ついでこの間ごあいさつをしたかと思ひますのに、もう今年度も最後になつてしまいました。

今年度は、はじめに、曲り角にあるPTAがどう正しい道へ曲つて進むか、一しよに考え、行動したということを示しました。そして、今静かにふり返つてみると、各専門部員の方や町内代議員さんを中心にして、その熱心な活動を通して、着実に歩みを進められ

ていることを感じます。そして、このPTA活動を通して、みなさんが学ばれることも大へん多かつたと思ひます。たとへば現在世界的に問題とされている交通問題についても、朝からお忙しの中で子ども達の通学、ご主人の通勤時の交通ラッシュのこと、また子どもたちの生活環境をとりまくいろいろな問題、危険個所のこと、不良文化財のこと……その他、どの一つをとりあげても、まだまだ問題が

多くにわたり、また根が深いことを知られたことでしょうか。またPTA活動でとりあげて意識しないところ、つまり見過してしまふような社会の問題について大きく目を開かれ、考えさせられたことでしょうか。こうやって社会をよく知り、またよくしようと思ひ、その方法を考え実行する。これがようやく大人になりかけた日本の民主主義をほんとうのものに育てあげる力となるものと思ひます。私たちは

このように地についた社会の勉強をPTA組織や活動を通して学んでおります。更に、もっと大きなことは「教育」について考え勉強するということだろうと思ひます。「七〇年代は教育の年代だ」とよく言われます。最近の世界は、これまで人類が経験したことのないほど速く大きく変化しつつあります。そして、いわゆる情報化社会、高度知識社会と言われる時代に入らうとしています。これまで私達が勉強し知ったことは、またたく間にスクラップになつてしまふつづあります。たえず勉強して行かなければ、知的栄養失調になつて時代に、とり残されてしまふでしょう。

島原市立第三小学校体育館

建設用地確保について

陳情の要旨
市公営並びに教育委員会のご英断により地区民多年の念願でありましたプールの実現をみましましたことに対しては、衷心感謝申し上げるところであります。実は、プ

ール建設と同時に、体育館建設の要望も強く、地域でも何れを優先すべきか決定しかねる状態でありました。したがって、プール完成の現在では体育館建設についての気運が著しく高まつてまいりました。三小は、児童数に比し、校地が狭小で、現在のままでは、建設の余地もない状態でありま

す。そのためそれぞれの人々がお互いの付き合いの場として色々な民主グループや団体が目的に向つて組織された活動がなされてい

校長 村 田 正 二

伝統を育てる

第三小学校は、歴史と伝統のある立派な学校だという第三者の声をよく耳にする。これは、永年にわたつて、親も、子も、教師も、その時々、各自の努力を重ねてきた賜である。

毎週土曜日の朝、子どもたちで道路掃除をしている。本年は諸般の事情から、冬も学校の始業を八時にしたため、暗いうちから掃除にとりかかればならぬ。このように、いろいろな問題点もあろうかと

少年団長を集めて実態調査をしてみた。そのとき、道路掃除をやめようという団長は、一人もなかつた。一人一人の立場が、朝早く起きて、寒い中での道路掃除は、やりたくないという気持の者があつた。だが、「先輩が何年間も続けてきたことを見分たけやめられようか。」という根性が生まれてくるのではないだろうか。

か。育友会の交通指導も、ここ数年のうちに新たな伝統としてはつきりしたものが出来上つてきた。朝早く、忙しい仕事をもちつた方々がいやな顔しつつも指導に当たつていた。このように、一つの集団の中で心と心とを結びつけている糸のようなもの、それが伝統ではないだろうか。あたたかく心と心がかよひあつたとき、そこに奉仕の精神が、感謝の気持が、やうとうとする意欲がうまれてくるのではなからうか。伝統を大切に育てたいものである。家庭にも、育友会にも、学校にも。たとへ、やさやかなもの、学校に、大切に育てていきたい。

経済の高度成長による異様な発展は、地域社会が著しく変貌し、これを象徴とする社会現象の例をあげれば色々あると思はれるが代表するものとして、流行語となつてゐる「モータリズム」「マイホーム主義」という言葉をあげて見たい。ここで申す迄もなく「モータリズム」は身も心も自分の属する職務に全身全霊をこめて社業の発展一途に生きる職域の人間であつて地域社会に根をおろした市民という姿は見出しえない。又都市化の現象として出現した、いわゆる団地社会における家庭生活の典型が「マイホーム主義」であるが、これもまた近隣社会とは隔絶した市民生活である。今後、いやが応でも都市化は進んで行くだろうが、このような生活は本来、孤独であると言われている。

雑 感

森 本 定 義

本校では、昨年十二月三日に、教科指導についての研究発表会を開催したが、その時の参加者は学校で予定していた数の二倍近くあつた。今まで立派な発表会をしてきた伝統がものをいふためだと思ふ。子どもたちも、三小はよい学校だという自負心を持つていたので、張り切って全力を出してくれたし、先生方の研究と相まって充実した発表内容だつたと喜んで

でいる。毎週土曜日の朝、子どもたちで道路掃除をしている。本年は諸般の事情から、冬も学校の始業を八時にしたため、暗いうちから掃除にとりかかればならぬ。このように、いろいろな問題点もあろうかと

少年団長を集めて実態調査をしてみた。そのとき、道路掃除をやめようという団長は、一人もなかつた。一人一人の立場が、朝早く起きて、寒い中での道路掃除は、やりたくないという気持の者があつた。だが、「先輩が何年間も続けてきたことを見分たけやめられようか。」という根性が生まれてくるのではないだろうか。

か。育友会の交通指導も、ここ数年のうちに新たな伝統としてはつきりしたものが出来上つてきた。朝早く、忙しい仕事をもちつた方々がいやな顔しつつも指導に当たつていた。このように、一つの集団の中で心と心とを結びつけている糸のようなもの、それが伝統ではないだろうか。あたたかく心と心がかよひあつたとき、そこに奉仕の精神が、感謝の気持が、やうとうとする意欲がうまれてくるのではなからうか。伝統を大切に育てたいものである。家庭にも、育友会にも、学校にも。たとへ、やさやかなもの、学校に、大切に育てていきたい。

経済の高度成長による異様な発展は、地域社会が著しく変貌し、これを象徴とする社会現象の例をあげれば色々あると思はれるが代表するものとして、流行語となつてゐる「モータリズム」「マイホーム主義」という言葉をあげて見たい。ここで申す迄もなく「モータリズム」は身も心も自分の属する職務に全身全霊をこめて社業の発展一途に生きる職域の人間であつて地域社会に根をおろした市民という姿は見出しえない。又都市化の現象として出現した、いわゆる団地社会における家庭生活の典型が「マイホーム主義」であるが、これもまた近隣社会とは隔絶した市民生活である。今後、いやが応でも都市化は進んで行くだろうが、このような生活は本来、孤独であると言われている。

広報部長 萩原 昭夫

私らが、新しく広報部として、発足したのも、ついこの間のようでしたが、早いもので一年を過ぎ、すことになりました。当初から部員一同色々と研究発案した課題は、一、発行回数を増やす。

一、紙面を広くし読みやすくする
一、思考を凝らし、テーマを研究する。

一、皆さんの積極的な投稿を戴く
様に「がんばの箱」を校内に取付ける

一、堅苦しい内容となり勝ちなのを努めて、やわらかく親しみや

先日、息子が使っていた広辞苑を何気なしにめくっていたら「切磋琢磨」という文字が目をはき、十七、八才の頃、独身寮の舎監がよくこの語句を使っていたのを思い出した。

戦時中のかたい訓話の中で聞いた語句のせいかな、とりすました秀才の感で好きになれない語句である。文字や語句に秀才、鈍才の区別はないかもしれないが、……解説には「玉、石などを切りみがくように道徳、学問を勉め励んでやまぬこと。また、仲間どうし互いに励まし合って学徳をみがくこと」となっている。平易な言葉になおしてみるとこの秀才語「切磋琢磨」が日常生活のいたるところで、活躍しているような気がする。

職場では技術や仕事についての

すい会報にする。

その他いくつかの議題は、実行出来なかったかも知れませんが、ここに五回目的の「がんば」の発行が出来ましたのも、数多くの協力者と赤素人の私を親切に導いて下さった、先生及び部員方々の努力の賜と喜んで居ります。

アリガトウ!

交通部長 松、隅、保、吉

本年度初めて生活部より独立した交通部長をおおせつかり一年間交通安全〇〇を目標に会員、町内指導員及交通部員の皆様の助けをいただきやうと一年間を終ろうとしています。ほんとうに有難う御座りました。

- ◎毎月五日の交通指導
- ◎各通字交叉点への部員の配置
- ◎警察より部員全員交通安全指導を受ける。
- ◎伝染病院交叉点の信号機設置の書を警察へ提出
- ◎二小、二小、三小の三校交通部

思いますに投稿する人、編集する人、読まれる人等それぞれの理解と協力があってこそ、「がんば」が、よりよく皆さんに親しまれ、一歩前進し、育友会、活動及び運営が円滑に行くと思えます。

の三校交通安全協議会の設立。
◎校内児童自転車点検整備を自転車組合の好意により実施。
◎交通指導の手びきの配布
◎笛、黄旗、白手袋の配布
以上の様な子供達を車から守るため次から次へと問題が出て来てあわてたり困ったりしましたが部員の方々の熱意にも私は尻をたたかれる様でした。横断旗については警察にお願いし協力をいただきました。白手袋の購入資金に困っていましたが各専門部長さん達の御好意で使用する事が出来、寒い朝、暖かい真白い手袋はほんとうに部員にとってうれしい贈物でした。一学期、二学期、三学期とだんだん子供達の横断の仕方が上手にな

り又、元気なあいさつをする様になり、小学生を見習ってか中学生も挨拶をする様になりやうぱり交通指導をやって良かったと思ったりもつとつと頑張らねばと思えました。
最近婦人交通指導員のお嬢さんの指導で子供達安心して登校している様です。交通部の仕事はそれで完成と言う事は有りません。次から次へと問題が広がって来ます。問題が起る、話し合う、やってみる、指導を受ける。やってみる、話し合う、指導を受ける。一年それを繰り返しました。次の交通部長さん、部員さんも亦頑張ってくださいませんか。

交通部表彰を受ける

去る二月二十五日、交通部の日頃の活動に対し、島原警察署より表彰を受けました。以下その文面です。

感謝状

島原市立第三小学校

育友会交通部殿

あなたがたは、昭和四十五年四月から、島原市立第三小学校区内の交通危険箇所を調査し、児童の登下校時に交通指導をして、児童の交通事故防止と交通安全意識の高揚に多大の効果をあげられました。ここに記念品を贈って感謝の意を表します。

昭和四十六年二月二十五日

島原警察署長

警視 小林虎雄

セッサタクマ

生活部長 松本 博

知識を高めるため、色々のグループでは豊かな人間性を養うため、家庭でも、地域でも何らかのかたちで人々は互いに励まし合い競いあつて自己の向上に勉められている。

高度に発達した今日の社会でも知識を得なければ本を読む技術を修めなければコーチに学ぶという方式だけでは真の人間としての向上はのぞめないのではないだろうか。
仲間どうしで互いに磨き合つてこそ一層の進歩がある。

も育てかたを間違ふとこういうことになりかねない不安になった。物質にめぐまれ、豊富な情報の提供を受けていると、ともすれば自分は人さまのお世話にならなくても生活出来、自分の子どもは自分の力で育てるんだと錯覚をおこし易い。子供達は子ども達どうしで、けんかの中から、遊びの中から自分をきたえ、生きる力を養う智慧をもっているはずである。

子ども達を「オリ」に閉じ込めたら、泳ぎを忘れたペンギンのようになるかもしれない。
出来るものでありたい。

「動物園で生まれ育つたマントヒツが木の枝にさがることをごわがり、キングペンギンは泳ぎが苦手」という記事を見たが私達の子どものために、地域的な少年団

出来ない。
出来るだけ集団の中で子ども本采の生活をさせたいものである。

勿論、家庭でも子どものしつけ

わたしはと選んだ職業

「最近の子どもには夢がない」といわれます。「子どもたちが打算的になったのだ」とか、「いや、現実の社会が、そういう子どもたちを作り出したのだ」とか、様々な論議がなされていますが、はたして、その実態はどうなのでしょう。もし、それが事実であれば、私たちはどう対処しなければならないのでしょうか。そこで、本年度卒業生一〇九名(男九四名、女一一五名)を対象に実態調査を行なって見ました。

質問一 あなたは将来、どのような人になりたいと思いますか
質問二 それは、どのような動機からでしょうか。

最大の課題となっています。子どもは、社会の趨勢を突に冷静に見抜いているといえましょう。しかし、その中にも子どもらしい奔放な夢があります。船に乗って見知らぬ外国へ行ってみたいとか、かわいらしい花屋さんをやりたいとか、自らの夢を現実の社会で開拓していく意欲は十分に汲みとれます。

まず、質問一の結果(表①)ですが、たしかに世評にも一理あるようです。かつあの、「末は博士か大臣か」といった熱狂的なものから堅実なものに変わっています。戦前の資本主義形成期にあつては、そのような立身出世の夢も現実的なものであつたでしょうが、資本主義社会がほぼ完成した現在ではその体制の中でどう生きるかが、



5年 原 三重子

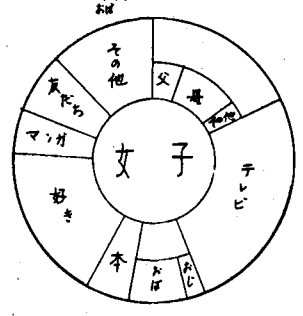
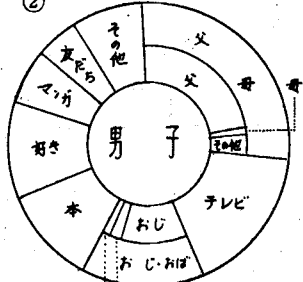
男子は、地域性をよくあらわして「船員」が多いのですが、それ以外にしても、自分をよく見つめた希望をもっているようです。ところが、女子はどちらかというとロマンチックな面が多分にあるようです。教師、美容師、スチューワーテス、看護婦など、華やかさ、清潔さなど多様ですが、何かを「世話する」という面で共通しています。母性本能の一端がのぞいているといつては考えすぎでしょうか。

表 ①

男 子			女 子		
希 望	職 種	人	希 望	職 種	人
船	員	15	教	師	32
技	師	12	美	容	17
プ	選	11	商	売	16
運	手	9	ス	チ	10
パ	ト	7	テ	ス	5
イ	官	7	会	社	5
大	左	7	婦	人	5
商	売	6	プ	選	5
コ	ク	6	看	護	4
医	師	4	医	カ	4
教	師	4	マ	メ	3
公	務	4	カ	ラ	3
政	交	4	メ	マ	3
治	外	4	ラ	マ	3
そ	他	11	の	他	14

お菓子屋など楽しくなります。次に質問二の結果(表②)ですが、家族、親戚の影響は相当に大きいものです。また、男子は父親が、女子は母親からというケースが多いようです。特に男子は親戚からの影響が四割を占め、そのほとんどが父、おじになっています。それは、男子に対する親の期待が大きき、家庭でもしばしば話題にのぼるためかも知れません。

表 ②



その反面、女子は「テレビ」「漫画」が親戚の影響よりも大きい、という結果が出ています。女子の希望職種からも、それは感じとれます。また、単に「好きだから」という理由が多いことも考えあわせると、やはりムードに対する弱さが出てくるようです。また友人の影響は、どちらも少ないようですが、今後、青年期にかかる時代に増加するだろうといふことは予想できます。

かつて一番影響力があつたであろう「本」が、テレビ、漫画にとつて代わられていくのは、いくら映像文化の時代とはいえ一抹の淋しさを禁じえません。以上の結果をまとめてみますと、子どもたちの将来について、考えさせられる問題がありそうです。まず、子どもの希望をおとなの尺度で考えることなく、大事に育ててやることでしょう。次に調査の結果を二例紹介してみよう。

質問一 看護婦
 ○病気の人のお世話をして早くなおしてあげたいから
質問二
 ○自分がいつもお世話になつ

質問一 漁業をやりたい
 ○とる漁業から、育てる漁業をしたい。
 ○能率的で機械化した漁業をしたい。
質問二 親がそうだから
 ○親よりもっと進んだ漁業をしたい。
 A児

質問一 たのしく小さなおかしyaをつくりたい。
質問二 おじさんとおばさんを見て
 (C子)

ているので、人のお世話をしてあげたい。
 (B子)

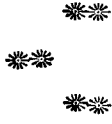


5年 黒沢 英美

以上は、ほんの一例ですが、おとなの簡単な批判を許さない子どもたちの世界があります。この世界を大切に、むしろ守ってやるようなきもちを、私たちが持ちたいものです。

更に、子どもたちの将来は、その家庭に多分に影響されるということです。子どもを輝かしたい将来のために、親の希望、様々な条件、本人の実態を十分考慮してやることも大切なことです。

本人の希望と、そのような条件とは、しばしば対立することがありますが、家庭での対話を今からはじめておくことが重要なことではないでしょうか。



卒業をひがえて

高松 正 赴
(島原市豊南町)

「光陰矢の如し」うちの一人息子も新しい学帽制服にピカピカのランドセル、幼いながらも人生の門出の一段階としての自覚があったのが、つい、この前のように想い出される。
六年間、日にして一、一九〇日、とうとう卒業の日が目前に来てしまいました。子供も、この頃になると、いやに大人っぽくなり、親と行を共にしないようになり、何

やら淋しいような、頼もしいような、ややこしい気持ちにおそわれるときがあり、改めて成長の過程を振り返り、ここまで教え、育てていただき人間の基礎作りにご配慮下さった諸先生のご誠意に感謝をいたす次第です。私共もよく経験する事ですが数ある同窓会の中で小学校の同窓会ほどわれわれの心を裸にして、平等な境地におく集りはない。と断言できます。こんど出てゆく六年生の息子たちも、おそらく十年、二十年、いや四十年たっても、今の三小のなつかしい夢の世界に、すぐ帰ること

ができるものと思います。先生から叱られて、思案にあまった夢、友達と校庭であばれまわり眠がさめたら、汗びっしょりだった経験は、誰しも味わったことで、いかに少年期の印象が強烈なものであつたかの左証だと思えます。
「少年よ大志をいだけ」、いかにも言い尽くされた言葉ですけど、三小の少年諸君にも、この心意気だけは(内容は個々別々でしょうけど)大きくもって、次の階段の中学校に、大きく飛躍されんことを心から祈りたいのが、偽らない親の気持ではないでしょうか。終わりに、諸先生の方に、心からお礼を申し上げます。

元島 和 男



1年 みうらとしひろ

「光陰矢の如し」とか、全く月日のたつのは早いものです。桜の蕾を見上げ乍ら、子供の手を引いて登った石段。ついこの間のよう思えたのに、もう六年の歳月が流れるとは……そうかもしれない

小さかった吾が子が「ホウ大きくなったね」と見る人々から言われるようになったし、口のきき方も亦、一言一言生意気で、大人じみた口ぶり……
交通安全の黄色いカバリーのかぶつたランドセルを背中一杯に背負つて、先生から貰つた〇のついたテスト用紙を右手に持って口一ぱい開けて「ただ今」と帰つて来た一年生のおどけない顔。
「今日は先生から叱られた」とべそかいて帰つて来た二年、三年の頃。
「今日も亦こんなに宿題がーパイヤ」と、持って来た宿題を見つめ乍ら、あちやない、こうぢやない子供とけんかし乍ら言い合つた四年、五年、六年、今ではテスト用紙をみても子供になわなくなつた今日比頃。成長した子供の蔭に秘められた先生方の御苦労の程が偲ばれて感謝の気持一杯です。

編集後記

本年度の最終号をお届けします。各号に対して、原稿をお寄せくださった方々に心からお礼申し上げます。どうもありがとうございます。
親しまれる「がんば」読まれる「がんば」なじまれる「がんば」……と、係一同、くふうと努力をしてきたつもりです。まだまだ不満の点や、改善すべき点が残されているのですが、育友会は、ひとりひとりの手で育てていくのだという考えに対して、ささやかな力添えにでもなれたらと思っております。
これからも、会員のみなさんに読んでいただける「がんば」を目標に編集してみたいと考えております。
ご意見、ご感想、文芸作品など広くご寄稿をお待ちします。
(編集係)

先日行なわれた授業参観日に出席して、二十余年前の自分の姿を想い浮かべ、昔と今とをあれこれ比較しながら考え、有意義な一ときを過ごすことが出来たこと、なつかしく思うと同時に、これほどまで、子供を立派に指導育成してくださりました諸先生方のご尽力とご心労に、感謝せざるをえませんでした。

教室で子供が元気に、しかも真剣なまなざしで、勉強する姿を見て感じた一こまを披露いたしますと、先生の質問に対して、ほとんどの子供が手をあげており、しかも、指名された子供がはつきり自分の意見をのべていました。昔はあれほど手を上げていたろうか、あれだけはつきり自分の考えを発表していたらうかと自ら問いかけて考

授業を参観して

古瀬 恵 子

えました。この頃は学力が向上し、平均化したのではなからうかと、そしてまた、人間の頭の差は微々たるもので、各個人個人が努力な気持で先生の言葉を受入れ、素直な答えすれば、誰しも伸びる可能性をもっているのだと言ふことをつくづく感じさせられました。それ

「す」という、日常生活の慣習と努力から生まれたものでありましよう。あの良き敷田気クラスづくりは、先生の工夫と研究と、しつくりのよきから、あみ出されたものであるうと感心すると同時に、その労苦と努力に頭のさがる思いがいたします。

と同時に、あれだけはつきり意見発表が出来る底には、子供の自信と勇氣と、敷田気づくりが日頃出来ている証であり、六か年の指導と、努力の結晶であるうと称讃せざるをえませんでした。

また、黒板の方に七名ずつ同時に、同一の漢字の書き取り練習の光景がありました。ほとんどの子供がするすると書いており、学問に対する家庭の関心度が高まっている証であるうと感心しました。一、二、違つたり、忘れたりにしている子供もいましたが、

この子供が隣をのぞくことなく、自分だけの書けることとの心情で、その素直さと真面目さに感うたれ無言の教育をされ、かえって拍手をおくりたい気持ちになりました。わずか一時間の授業参観でありましたが、色々考えさせられ、数多く教えられたことに感謝と喜びを感じました。
親にとって子供は、何物にもかえ難い宝であり、すくすく育ちゆくわが子の成長を見ることほどうれしきものはありませんが、ややもすると私達は、子供の成果だけを希望、期待し、その過程の難かしさと先生のご心労に想いをよせずただ学校にまかせきりです。ご傾向がありますが、私自身本当に相済まなく申訳なく思われてなりませんでした。

育友会の役員選出についても、波風立たずスムーズに運ばれたこと、向山地区の方々の気質がはつきりと判かり微笑ましく思えます。こ

のような美しいものは是非残して貰いたいと念願して止みません。反面、子供の言葉の悪さは定評があるだけになんとしても「美しいことば」の実行が必要だなあと反省させられます。
ともあれ、六年間の長きに亘つて御世話頂いた校長先生、始め諸先生の御労苦に対し深甚なる謝意を申し上げ、果立ちゆく子供達を今後共御指導下さるよう御願い申し上げます。校長先生、諸先生御世話に相成りました。後に続く子供達のため一層御努力下さるよう願ひ申し上げます。